

平成 29 年度 第 1 学期始業式 校長講話

皆さん、おはようございます。

平成 29 年度の学校生活が始まります。その最初の行事として新任式を行いました。今年本校に新たにおいでになった先生方を紹介しましたが、どうですか。多いと思いませんか。そうなんです。今年は、たまたまたくさんの先生方が本校から異動しなくてはならない年だったのです。茨城県の決まりで、何年以上は同じ学校にいられないというルールがあって、そのルールによって異動しなければならない先生方がいたわけなんです。それがたまたま今年に集中してしまいました。皆さんが昨年までお世話になった先生方もたくさん異動されて、寂しい思いをしている人もいるかと思いますが、これは仕方ないことです。

本校を離れる先生方にお言葉を頂く機会を、離任式として来週設定していますので、離任なさる先生方にはその時にご挨拶いただくとして、今日は新年度の初日ですから、新しい先生方を皆さんに紹介したわけです。

なぜ、茨城県は、「何年以上は同じ学校にいられない」なんてルールを作ったのでしょうか。

同じ先生がずっと学校にいて、経験を積み、そしてその経験を有効に使いながら、教育活動に当たってくれるということのメリットはもちろんあります。しかし、その一方で、同じことの繰り返し、つまりマンネリになってしまう危険性もあります。そこで、新たなスタッフに入れ替えることで、新しい風を入れ学校が一層活気のあるものになることを期待し、そういうルールを作ったのだと思います。

確かに今年の異動者の多さは並みではありませんが、これは、学校に新しい風を入れるチャンスでもあります。ピンチはチャンスということです。これをチャンスに変えることができるかどうかは、新任の先生方、私も含め、これまで本校にいた先生方、そして君たち生徒、つまり私たち全員にかかっている。私たちは、いま、本当に実力を問われているのだと思います。いまこそ、私たちの力を結集し、新しい竜ヶ崎南高校の、新しい日々を作らなければならない時だと思います。

今は 2 年生と 3 年生しかいないこの学校に、明日になれば、新入生が入ってきて、また賑やかな学校が戻ってきます。先日の終業式でも話しましたが、皆さんは、今年は上級生として 1 年生を導いて行く立場ですから、一層自覚を持たなければなりません。

新しい先生方、新入生とともに、竜ヶ崎南高校に、新しい風が吹くことができるよう、皆で力を合わせてやっていきましょう。

最後に。これはいつも言うことですが、学期の切り替わりは、心と体の調子を崩しやすい時期ですので、少しでも異常を感じたら、誰でもいいですから信頼できる人に相談してください。くれぐれも 1 人で抱え込まないでください。3 月の卒業式にも言いましたが、心と体が元気であるならば、どうにかかります。心と体の健康を保つことはとても大切なことです。気をつけてください。

以上をもちまして、新学年の始まりのあいさつとします。

平成 29 年 4 月 6 日（木）

茨城県立竜ヶ崎南高等学校体育館にて

校長 塚本敏雄